入選

妊婦さんにやさしいまちづくり

四学年　中村　譲

ぼくは、妊婦さんにやさしいまちをつくりたいです。

理由は、テレビを見ていたら、「でんしゃのなかですわれなくて、ころびそうになる」や「かいだんで足元が見えなくてこわい」という妊婦さんのふあんがありました。これをなくすにはどうしたらいいのかな？」と思いました。

そしてぼくは、でんしゃの中で妊婦さんをみつけたら、せきをゆずって、かいだだんで妊婦さんをみつけたら、「ここでかいだんおわりますよ」とか「ここ、だんさがあるので気をつけてください」などと声をかけてあげたいです。

このようなことは、妊婦さんのこまっていることのほんの一部でしかありません。ほかにも、妊婦さんは、「人におなかがあたらないように、あるくのがたいへん」「足元が見え

「ないから、いつころぶかわからずふあん」

なにをふむかわからない」など、こまっている

ることがたくさんあるとおもいます。

妊婦さんが生きるいいまちをつくるために、

妊婦さんにやさしくしたいです。

20 × 20